

世界最古の建国国家



木村副代表

令和を迎え、ふと日本が世界最古の建国国家であることを思い出した。長い歴史の中で、価値あるものだけが守られ継続出来たことは、大きな誇りであります。

世界の歴史は、王朝の交代の歴史でありました。国家は数十年や百年程度で成立と滅亡を繰り返してきました。その中で日本が古代から今も存続し我が国以前にあった王朝は、いずれも滅びてしま

いました。では日本の建国はいつなのか。正史「日本書紀」によれば、初代神武天皇の橿原宮(かしはらのみや)での即位が日本の建国で紀元前六六〇年、約二六八〇年前になります。「日本書紀」には神話的要素が強く、特に建国の記述には信憑性が問われております。しかし、3世紀前期の奈良三輪山の麓にある*纏向(まきむく)遺跡に前方後円墳が造られたことがヤマト王権の成立を示していて、そのヤマト王権がやがて日本列島の大部分を統治する大和朝廷となり、以来現在まで王朝の交代がなく最も短く見積っても一八〇〇年前で我国が現存



〈参考引用〉纏向遺跡内…箸墓古墳(はしはかこぶん)

初期古墳の中でも最古級とされる前方後円墳。諸説あるが、纏向遺跡は初期大和政権の王都である魏志倭人伝が伝える「邪馬台国」の地ではないかとも考えられている。

する最古の国家でありま

す。ちなみに2番目は、デンマークで10世紀前半バイキングを統合したゴーム国王で一千数十年、3番目が英国でウイリアム一世がフランスから渡ってブリテン島を征服したのが一〇六六年で九百数十年、米国は、英国との独立戦争から二四十年。フランスは、フランス革命から二三〇年。中国は、毛沢東が天安門広場で宣言してから七〇年。ロシアは、ソヴィエト連邦が崩壊し独立宣言した一九九一年が建国の年であり、我国が少なくとも一八〇〇年以上に渡って王朝を守って来たことは、人類史上の奇跡といっても過言ではないと思えます。

さて、我が分社グループは江戸期第一一三代東山天皇、五代將軍徳川綱吉の元禄時代には鍛冶職を生業とし、戦前は煙草刻み機械、フライス盤等の精密工作機械、戦後は塗装業から鍍金、プリン

ト基板等の電子部品、電子装置等々、江戸、明治、大正、昭和、平成と三一〇年以上の長きに亘り連綿と物作り一筋に従事し、その間に戦争、地震等の自然災害、飢饉、金融危機等知恵を出し苦難を乗り越え価値を求めて地域社会、日本、世界に貢献して来ました。我が分社グループには先人から引き継いだ遺伝子と技術の更なる探究を追い求め事業の発展に邁進いたしましょう。会社も健康であり皆様も健康に留意され良き令和の時代を作ろうではありませんか。

社長会・株主総会・吉生会開催



日本フライトセーフティ(株)
山田社長挨拶

引き続き、本年4月より分社グループから離れ、新しいスタートを切っている日本フライトセーフティ(株)山田元昭社長より、「皆様、これまで大変お



㈱大昌電子 菅谷社長挨拶

篠崎会長の開催の挨拶に続き、今期より㈱大昌電子代表取締役役に就任された菅谷正蔵社長よりご挨拶を頂きました。

■社長会

令和元年6月25日（火）、コートヤード・マリオット銀座東武ホテルにおいて社長会・株主総会・吉生会が開催されました。

世話になりました。日本フライトセーフティ(株)は平成元年に設立し、今までいろいろなことがありましたが、気が付いたら30年経っていた、というように感じています。この度、グループからは離れることになりましたが、業務内容は全く変わりません。遊覧飛行も引き続きやっております。何かありましたらお手伝いさせていただきます。本當にいろいろとありがとうございます。感謝の言葉が述べられました。

■株主総会

・吉生会

例年5月・6月と2回に分けて開催しておりますが、今年は6月に全社一斉に行いました。

開催にあたり酒井代表は、「本日は長丁場になります。総会と各社の



株主総会の様子



酒井代表挨拶

現況を説明するプレゼンテーションをご覧頂き、「この会社こんなことやっているのか」と改めて知って頂いたり、各社の発表等を自社に活かして頂けたらと思います。」と挨拶を述べられました。

■吉生会

株主総会終了後の吉生会は、篠崎会長の軽快な

「総務・労務・人材部会」開催



車塚先生による講義の様子



グループワーク

令和元年7月5日（金）「総務・労務・人材部会」が開催されました。今回は「プレゼンテーション力の強化」をテーマに(株)ブレイクビジョン代表取締役車塚元章氏を講師にお迎えし研修が行われました。開催に先立ち座長の酒井代表は、「皆さんが“伝えたい”と思うことを、見てくれる人、聞いてくれる人によりよい形で伝えるための方法を学んでいきましょう」と挨拶を述べられました。研修は、表現力を高めることに重点を置き、人前で話し方やスライドの作り方など、具体的な方法を実践を交えながら体感し理解を深めていきました。



乾杯：篠崎会長



中締め：本間社長

乾杯のご発声が始まり、和やかな雰囲気の中、各社間の交流と談笑のひとつときとなりました。



会場内の様子

